



SURVEY REPORT 2026

令和7年度 全会員対象コンプライアンス研修
アンケート分析レポート

日本ボッチャ協会

調査概要



総回答数

161 名

全受講者回答



平均スコア

4.81 /5.0

高評価率（スコア4以上）

97.5%

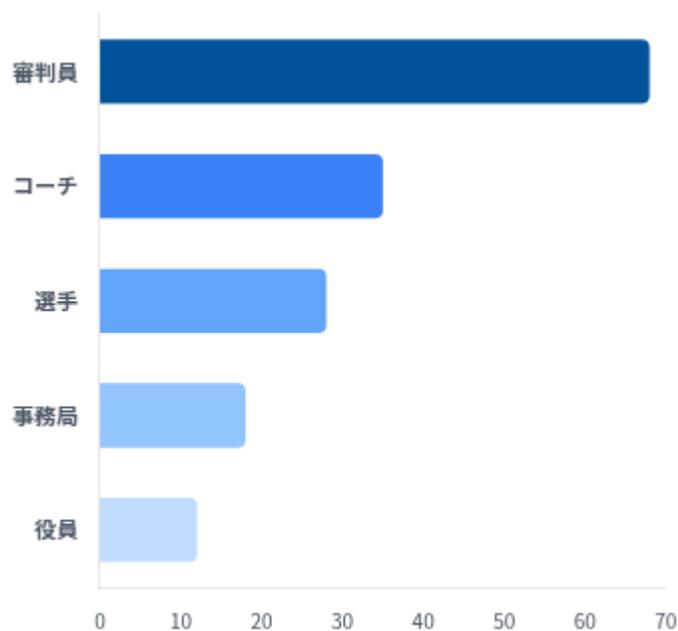
大多数が肯定的評価

「非常に良い」評価率

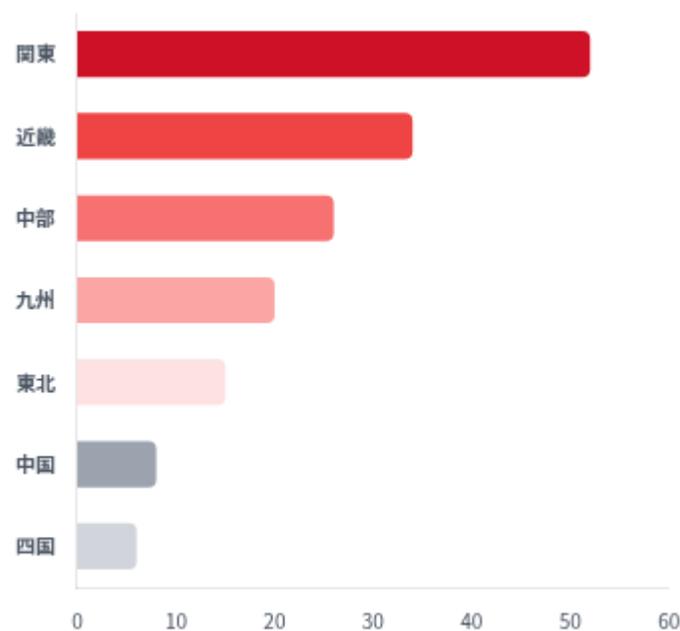
83.2%

スコア5の割合

役職別回答者分布



地域別回答者分布



💡 分析インサイト

審判員が回答者の約4割を占めており、現場でのルール適用や判断基準に対する関心の高さが伺えます。地域別では関東・近畿・中部で全体の約7割を占めており、主要都市圏を中心に研修への参加意識が高い傾向にあります。

主な参加層：

審判員 (42%)

関東圏 (32%)

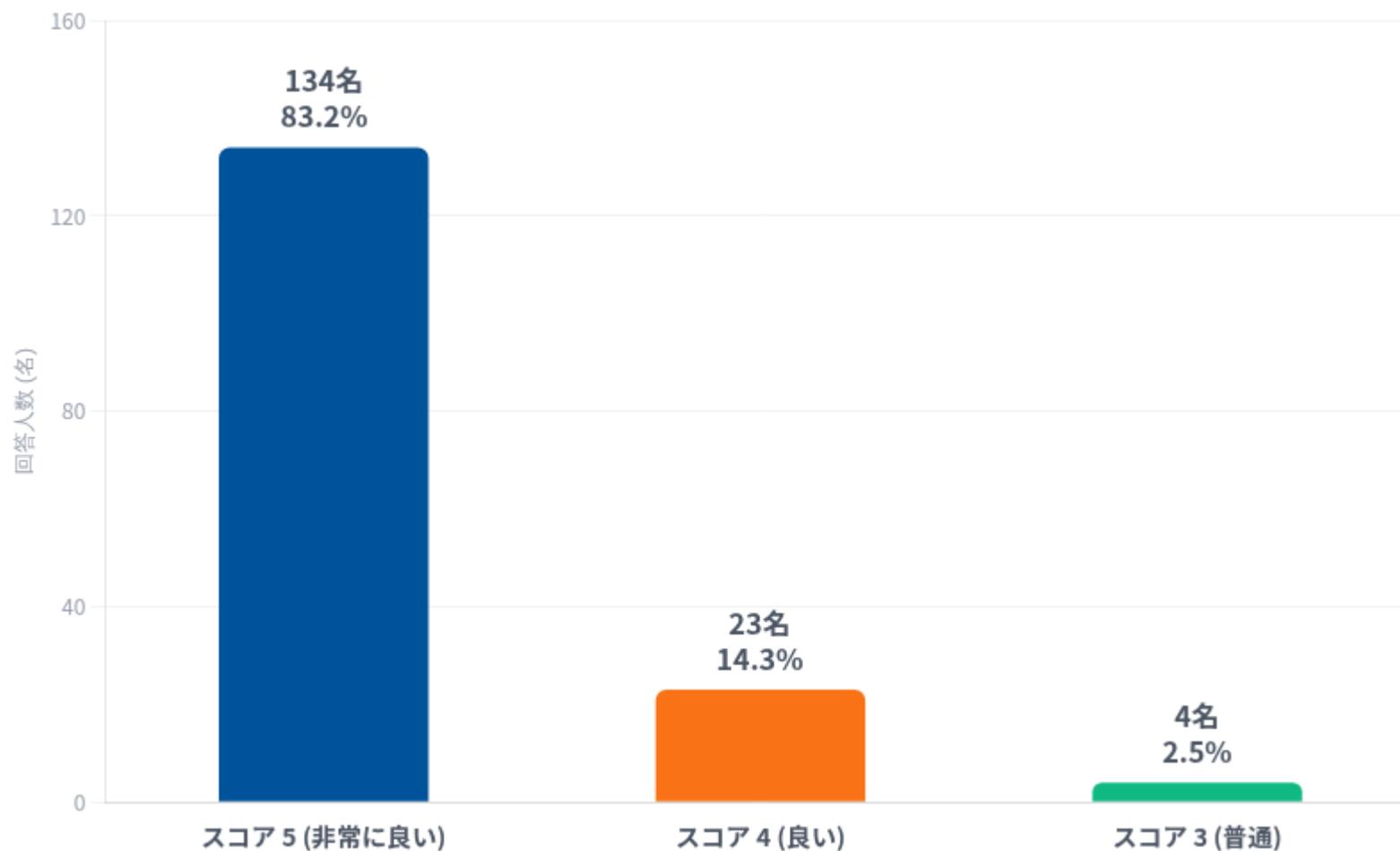
スコア分布

回答者の83.2%が最高評価「5」を選択しており、満足度は非常に高い水準です。

● スコア5: 非常に良い

● スコア4: 良い

● スコア3: 普通



圧倒的な高評価

スコア4以上（良い・非常に良い）の合計は97.5%に達し、研修内容が受講者の期待に十分応えていることを示しています。

内訳データ

スコア 5 134名

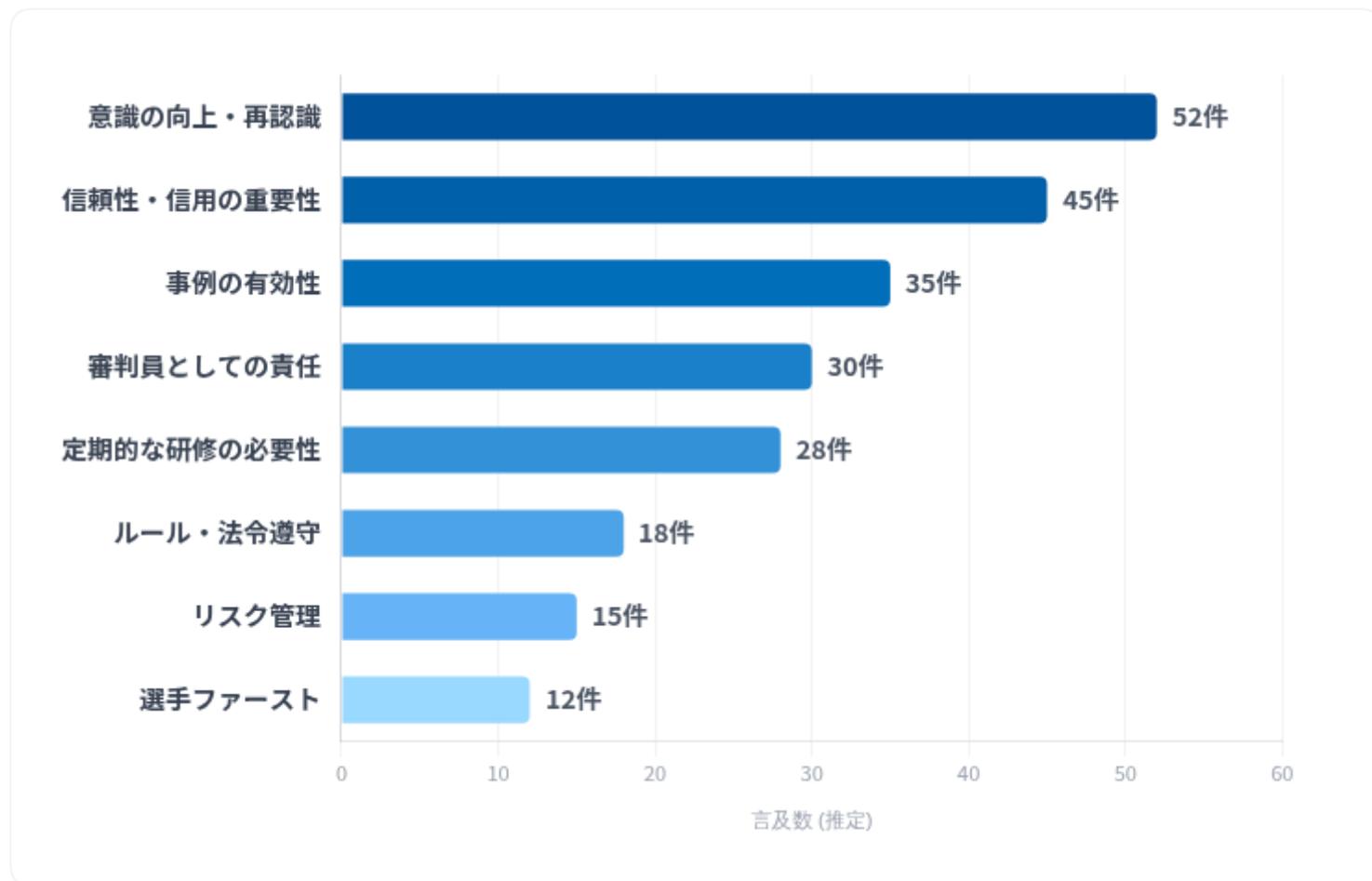
スコア 4 23名

スコア 3 4名

合計161名

主要テーマ分析

スコア5（非常に良い）と回答した参加者の自由記述コメントから抽出した主要トピック（推定言及数）



1 意識の向上・再認識

「意識」「再認識」「確認」といったキーワードが最も多く、研修がコンプライアンス意識のリフレッシュに大きく貢献していることが分かります。

2 信頼性・信用の重要性

協会や選手に対する「信頼」を守ることの重要性が強く認識されており、組織全体のガバナンス強化への理解が進んでいます。

3 事例の有効性

「具体的」「わかりやすい」という評価が多く、事例を用いた解説が受講者の理解度向上に効果的であったことが示されています。

テーマ詳細 (上位4つ)



意識の向上・再認識

52 件の言及

KEY WORDS

意識

再認識

確認

多くの参加者が、日々の活動におけるコンプライアンス意識を改めて確認する機会となったと回答しています。

01



事例の有効性

35 件の言及

KEY WORDS

事例

具体的

わかりやすい

抽象的なルール説明だけでなく、具体的な事例を用いた解説が理解を深めるのに役立ったと評価されています。

03



信頼性・信用の重要性

45 件の言及

KEY WORDS

信頼

協会

選手

迷惑

協会および選手に対する社会的信用の維持・向上について、自分事として捉える意見が多く見られました。

02



審判員としての責任

30 件の言及

KEY WORDS

審判員

公平

公正

高潔

公平・公正なジャッジを行う審判員としての高い倫理観と責任感について言及する声が多く寄せられました。

04

改善提案・懸念事項



スコア4の主な意見

さらなる向上のための建設的な提案

✓ 内容の差別化・工夫

「内容が他と似ている」「もう少し工夫が必要」といった、独自性や新鮮さを求める声がありました。

🕒 時間配分の最適化

「1時間でも良いのでは」という意見があり、よりコンパクトで密度の高い研修へのニーズが伺えます。

🚶 実践での活用への不安

「実践で活かせるか不安」という声に対し、より実務に即した演習等の導入が検討されます。

🛡️ 個人情報取扱いの学習要望

「個人情報の取扱いをもっと学びたい」という具体的な学習ニーズが確認されました。



スコア3の主な意見

解決すべき課題や不安要素

🔧 違反時の処罰に関する情報

「違反した場合の処罰について知りたい」という意見があり、ルールの厳格な適用基準への関心が示されています。

👁️ 現場での気づきへの不安

「実際の場面で気づけるか不安」という声は、座学だけでなくシチュエーション別の判断力を養うトレーニングの必要性を示唆しています。



分析担当者コメント: 全体的に高評価であるものの、より実践的かつ具体的なケーススタディや、個人情報保護などの特定分野への深掘りを求める声が一定数存在します。次回のカリキュラム策定における重要な改善点となります。



OVERALL EVALUATION

全体的な評価

平均スコア

4.81 / 5.0

高評価率 (スコア4以上)

97.5%

💡 主要な気づき

✓ 意識の向上・再認識が最多
参加者の多くが、コンプライアンス遵守の重要性を再確認する機会として本研修を高く評価しています。

✓ 信頼性・信用の重要性の理解が深化
組織全体の信頼を守ることが、競技環境の維持に直結するという認識が定着しつつあります。

✓ 事例提示の有効性が高評価
具体的なケーススタディを用いた説明手法が、理解度向上に大きく寄与していることが確認されました。

▶▶ 今後の改善点 (Next Actions)

1 研修内容の差別化・インタラクティブ化
マンネリ化を防ぐための新しいアプローチの導入

2 個人情報保護と違反時の措置強化
ニーズの高い特定分野に関するセクションの拡充

3 実務ケーススタディの追加と演習化
「現場で使える」判断力を養う実践的な演習

4 研修時間・配分の最適化
より効率的で密度の高いプログラム構成への見直し